2017年３月期
決算説明会

2017年５月12日
株式会社日本エム・ディ・エム

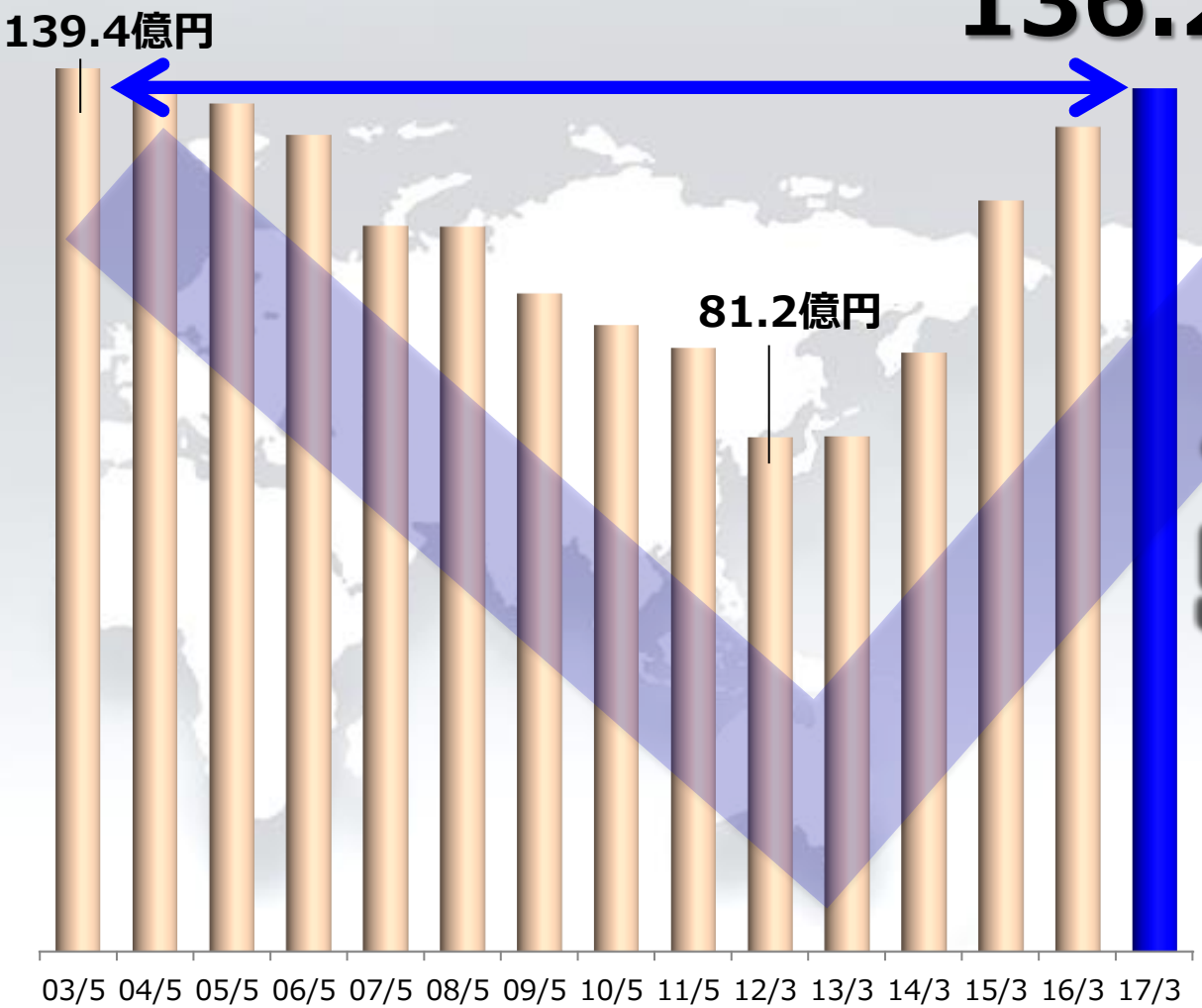
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

目次

1. 2017年３月期 連結決算結果	①連結売上高推移　円高進展も成長堅持　5年×1.7倍	・・・	3
	②連結損益計算書	・・・	4
	③主要品目別連結売上高	・・・	5
	④前期営業利益比較分析	・・・	6
	⑤予想値対比	・・・	7
2. 2018年３月期 連結業績予想	①連結売上高推移　MODE2017最終年度　過去最高売上高	・・・	8
	②連結損益計算書	・・・	9
	③主要品目別連結売上高	・・・	10
	④棚卸資産・Net Debt、フリーキャッシュフロー推移　成長投資継続＋財務体質改善	・・・	11
	⑤「MODE2017」進捗報告	・・・	12
3. Topics	①人工関節売上高推移　日本市場比較　ODEV社製品　YoY＋11.8%　5年×2.4倍	・・・	13
	②骨接合材新製品「ARISTO ネイル システム」販売開始	・・・	14
	②-ｂ骨接合材料売上高推移　新製品導入　営業体制強化（特販部　新設）　持続的成長　収益基盤拡大図る	・・・	15
	③骨補填材新製品「セラリボーン」の販売開始	・・・	16
	③-ｂ人工骨売上推移　新製品導入　販売体制強化（製品企画部　新設）　売上倍増目指す	・・・	17
	④米国販売推移　持続的成長　人工股関節　成長牽引　+17.0%	・・・	18
	④-ｂ米国販売推移　営業体制強化（RSM採用）東西両エリアで高成長を継続	・・・	19
4.設備投資等推移		・・・	20

1．2017年3月期連結決算結果①

（連結売上高推移）



円高進展も

成長堅持

5年×1.7倍

1．2017年3月期連結決算結果②

連結損益計算書

（単位：百万円、%）

	17年3月期		前期比増減		16年3月期	
	実績	売上比	増減額	増減率	実績	売上比
売上高	13,629	100.0	+604	+4.6	13,024	100.0
売上原価	3,921	28.8	+100	+2.6	3,820	29.3
売上総利益	9,708	71.2	+504	+5.5	9,203	70.7
販管費	7,798	57.2	+302	+4.0	7,496	57.6
営業利益	1,909	14.0	+202	+11.8	1,707	13.1
営業外損益	△ 162	△ 1.2	+9	△ 5.3	△ 171	△ 1.3
経常利益	1,747	12.8	+211	+13.7	1,536	11.8
特別損益	△ 173	△ 1.3	+150	△ 46.5	△ 324	△ 2.5
当期純利益※	1,130	8.3	+330	+41.2	800	6.1

※親会社株主に帰属する当期純利益

1．2017年3月期連結決算結果③

主要品目別連結売上高

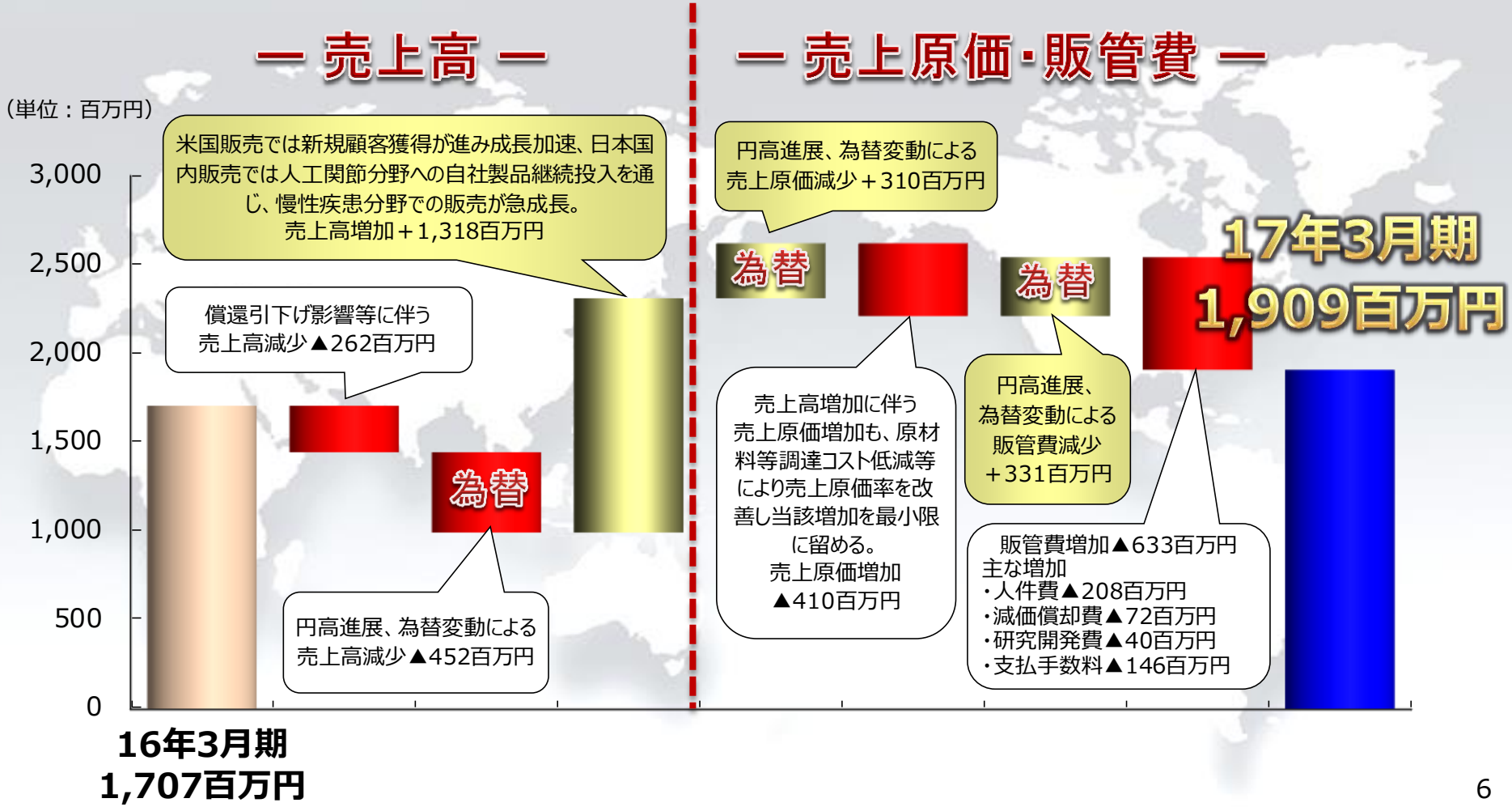
（単位：百万円、%）

	17年3月期 実績	17年3月期 構成比	前期比増減 増減額	前期比増減 増減率	16年3月期 実績	16年3月期 構成比
日本国内販売	**9,063**	**66.5**	**+330**	**+3.8**	8,733	67.0
人工関節	**4,479**	32.9	+382	+9.3	4,097	31.5
骨接合材料	**2,952**	21.7	+15	+0.5	2,936	22.5
脊椎固定器具	**1,299**	9.5	+17	+1.4	1,281	9.8
人工骨	**114**	0.8	+2	+2.1	112	0.9
その他	**217**	1.6	△ 88	△ 28.9	305	2.3
米国販売（注）	**4,566**	**33.5**	**+274**	**+6.4**	4,291	33.0
人工関節	**4,461**	32.7	+366	+8.9	4,095	31.4
脊椎固定器具	**104**	0.8	△ 91	△ 46.6	196	1.5
合計	**13,629**	**100.0**	**+604**	**+4.6**	13,024	100.0
自社製品売上高	**11,923**	**87.5**	**+838**	**+7.6**	11,084	85.1
（注）米国販売額（千ドル）	**41,822**		+6,061	+17.0	35,760	
（注）換算レート（円）	**109.18**		△ 10.83	△ 0.1	120.01	

1．2017年3月期連結決算結果④

前期営業利益比較分析

＋利益方向への影響
▲損失方向への影響



1．2017年3月期連結決算結果⑤

予想値対比

売上高は米国販売が円高の影響を大きく受けたこと、脊椎固定器具分野での競争激化による成長鈍化により予想値を下回った。経費面は円高の影響、原材料調達コスト低減等により売上原価率が改善し、また円高の影響、効果的な経費使用等により販管費が予想値を下回った。以上の結果、営業利益、経常利益及び当期純利益で予想値を上回った。

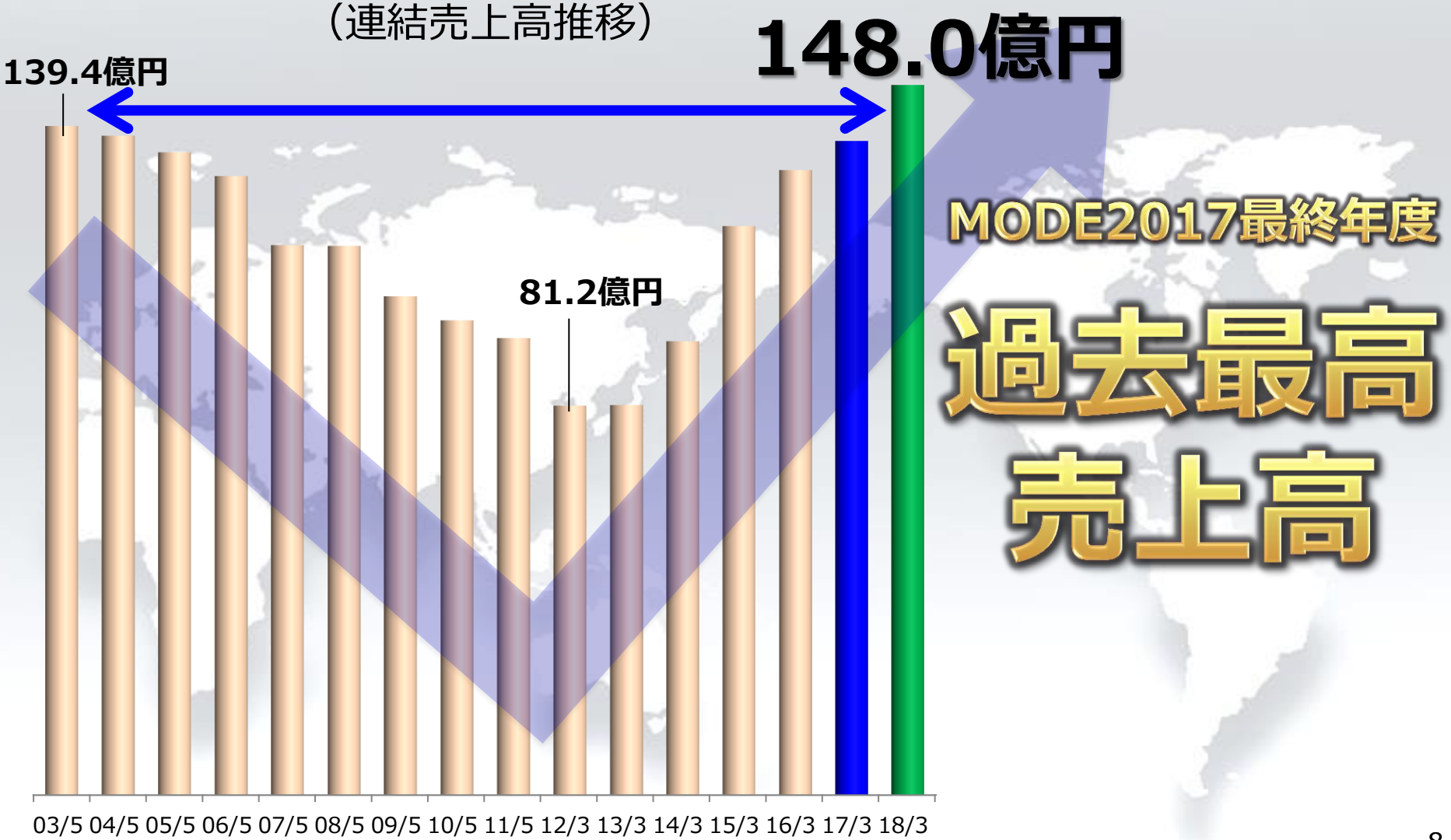
（単位：百万円）

連結	2017年3月期 予想値	2017年3月期 実績
売上高	14,000	13,629
営業利益	1,800	1,909
経常利益	1,650	1,747
当期純利益※	1,000	1,130

※親会社株主に帰属する当期純利益

2．2018年3月期連結業績予想①

（連結売上高推移）



2．2018年3月期連結業績予想②

連結損益計算書

（単位：百万円、%）

	18年3月期		前期比増減		17年3月期	
	予想	売上比	増減額	増減率	実績	売上比
売上高	14,800	100.0	+1,170	+8.6	13,629	100.0
売上原価	4,100	27.7	+178	+4.6	3,921	28.8
売上総利益	10,700	72.3	+991	+10.2	9,708	71.2
販管費	8,500	57.4	+701	+9.0	7,798	57.2
営業利益	2,200	14.9	+290	+15.2	1,909	14.0
営業外損益	△ 100	△ 0.7	+62	△ 38.4	△ 162	△ 1.2
経常利益	2,100	14.2	+352	+20.2	1,747	12.8
特別損益	△ 100	△ 0.7	+73	△ 42.4	△ 173	△ 1.3
当期純利益※	1,300	8.8	+169	+15.0	1,130	8.3

※親会社株主に帰属する当期純利益

2．2018年3月期連結業績予想③

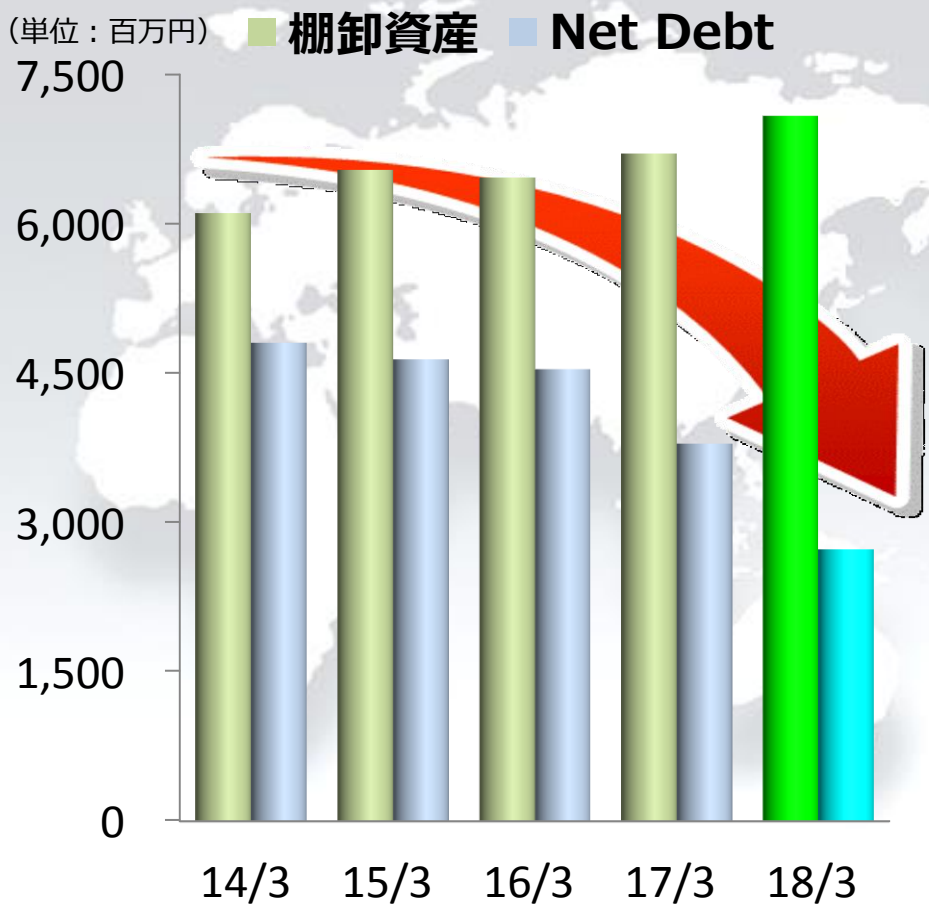
主要品目別連結売上高

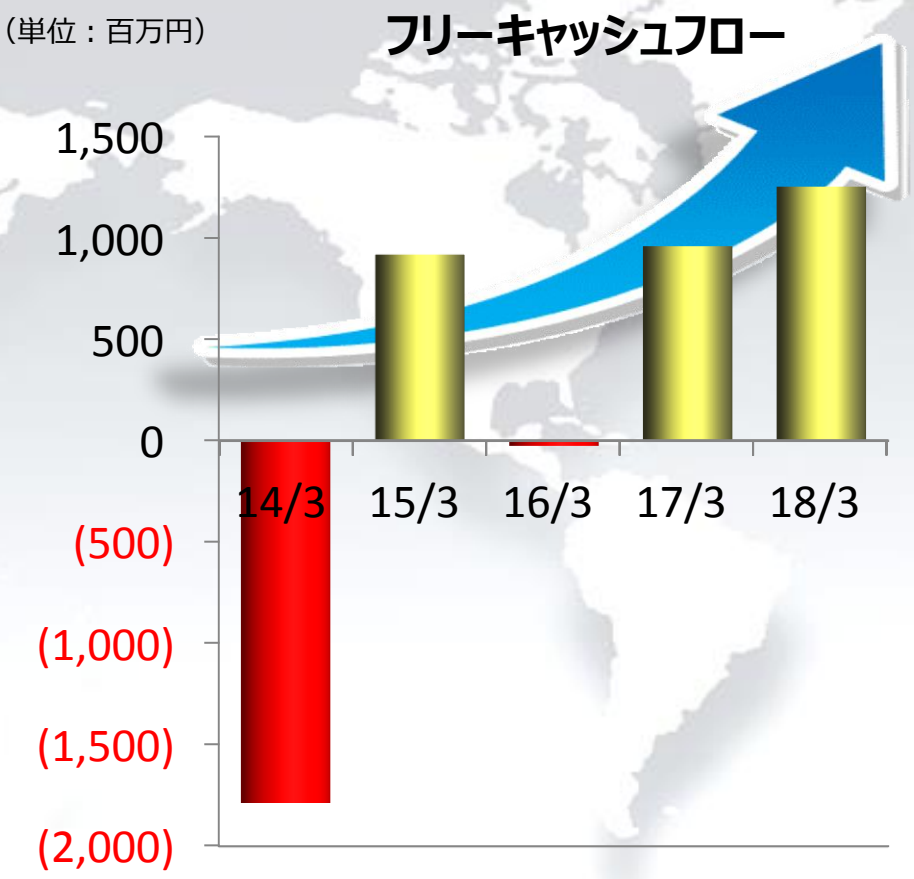
（単位：百万円、%）

	18年3月期 予想	18年3月期 構成比	前期比増減 増減額	前期比増減 増減率	17年3月期 実績	17年3月期 構成比
日本国内販売	**9,520**	**64.3**	**+456**	**+5.0**	9,063	66.5
人工関節	**4,720**	31.9	+240	+5.4	4,479	32.9
骨接合材料	**3,050**	20.6	+97	+3.3	2,952	21.7
脊椎固定器具	**1,330**	9.0	+30	+2.4	1,299	9.5
人工骨	**220**	1.5	+105	+91.7	114	0.8
その他	**200**	1.4	△ 17	△ 7.9	217	1.6
米国販売（注）	**5,280**	**35.7**	**+713**	**+15.6**	4,566	33.5
人工関節	**5,170**	34.9	+708	+15.9	4,461	32.7
脊椎固定器具	**110**	0.7	+5	+5.0	104	0.8
合計	**14,800**	**100.0**	**+1,170**	**+8.6**	13,629	100.0
自社製品売上高	**13,250**	**89.5**	**+1,326**	**+11.1**	11,923	87.5
（注）米国販売額（千ﾄﾞﾙ）	**48,000**		+6,177	+14.8	41,822	
（注）換算レート（円）	**110.00**		+0.82	+0.8	109.18	

2．2018年3月期連結業績予想④

成長投資継続＋財務体質改善





2．2018年3月期連結業績予想⑤

「MODE2017」進捗報告

「MODE2017」最終年度。売上高進捗厳しいが各段階利益は順調に推移。

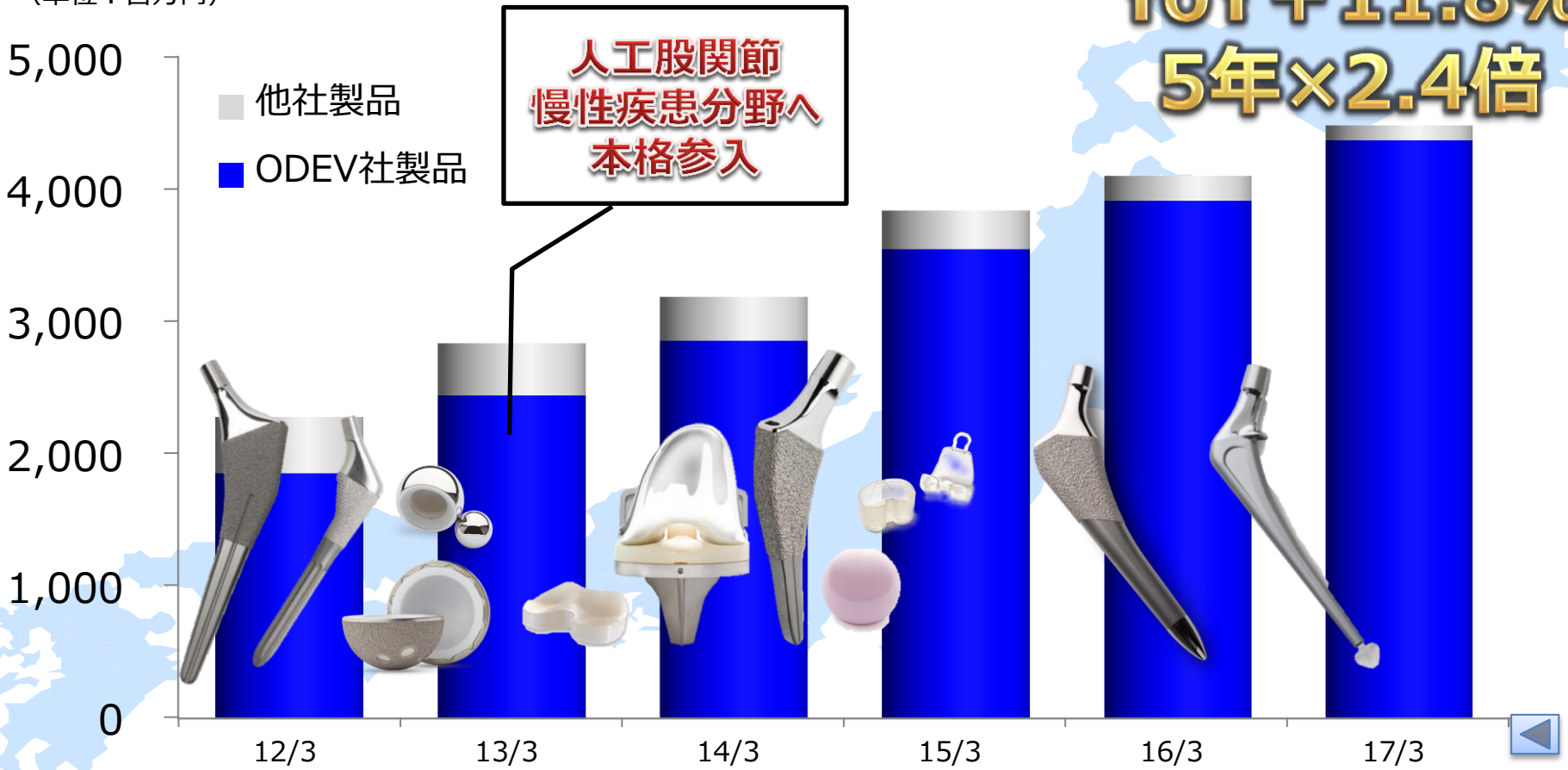
（単位：百万円）	2016年3月期 実績/目標	2017年3月期 実績/目標	2018年3月期 予想/目標
売上高	13,024/ 13,300	13,629/ 14,500	14,800/ 16,000
営業利益	1,707/ 1,400	1,909/ 1,600	2,200/ 2,000
経常利益	1,536/ 1,200	1,747/ 1,400	2,100/ 1,800
売上高成長率	9.9%/ 12.2%	4.6%/ 9.0%	8.6%/ 10.3%
自己資本利益率	7.2%/ 6.0%	9.6%/ 7.0%	10.1%/ 8.0%
年間配当金	6円/ 6円	7円/ 7円	8円/ 8円

3．Topics①

人工関節売上高推移

ODEV社製品
YoY＋11.8%
5年×2.4倍

（単位：百万円）

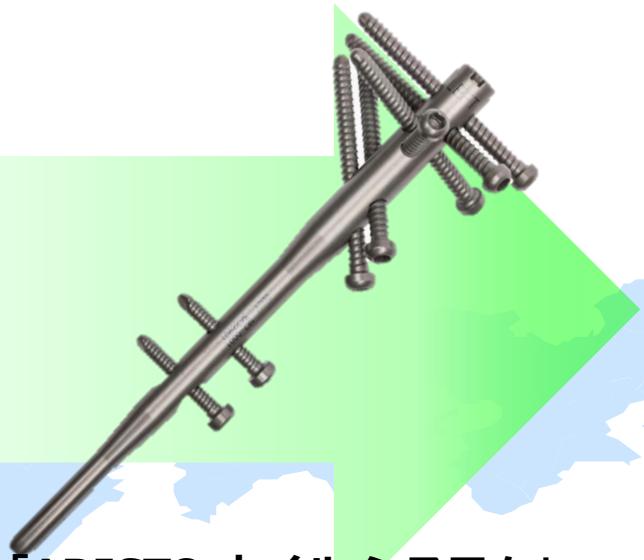


※ 日本国内販売の比較を記載しております。 ※ 画像サイズはイメージで実際のサイズとは異なります。

3．Topics②

骨接合材新製品「ARISTO ネイル システム」販売開始

「ARISTO ネイル システム(ARISTO Proximal Humeral Nail)」は、近年増加している高齢者の上腕骨近位部骨折に対応する製品。日本人の CT データをもとに開発され、日本人の上腕骨の後捻（骨頭が後方にねじれている）形状に対応するデザインにより最適な骨接合が可能となる。現在販売中の上腕骨近位端骨折に対応する「MODE Proximal Humeral Plate」に本製品が加わることで、上腕骨近位部骨折に対する治療の選択肢が拡がり、骨接合材料の販売拡大が期待される。



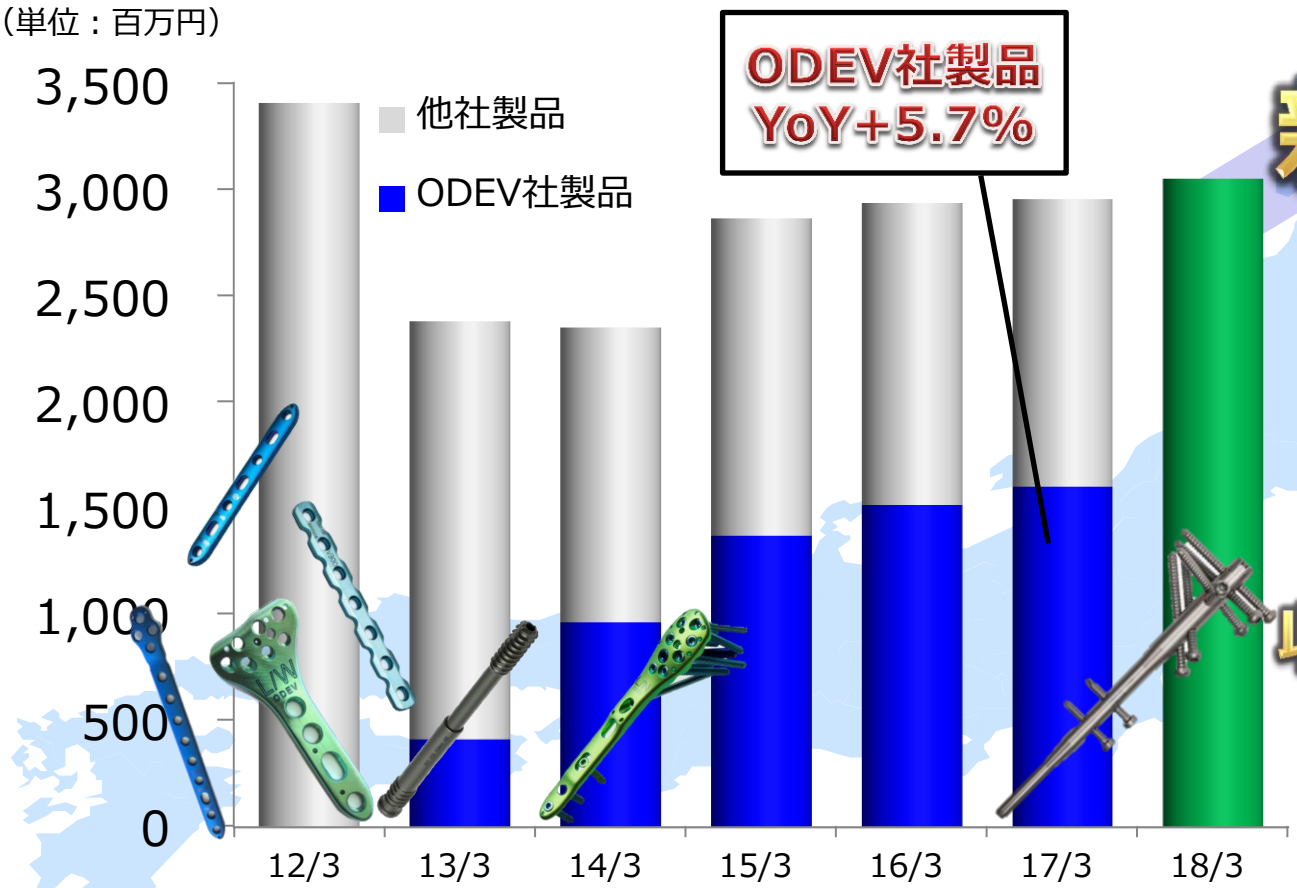
「ARISTO ネイル システム」

骨接合材料分野

※ 画像サイズはイメージで実際のサイズとは異なります。

3．Topics②-b

骨接合材料売上高推移



新製品導入

営業体制強化

（特販部　新設）

持続的成長

収益基盤拡大図る

※ 画像サイズはイメージで実際のサイズとは異なります。

3．Topics③

骨補填材新製品「セラリボーン」の販売開始

「セラリボーン」は、日本特殊陶業社独自の製造技術で良好な連通気孔構造を実現し、高い圧縮強度を有しながら、移植母床に対してバランスの良い吸収性と置換性を併せ持ったセラミックス人工骨で、様々な部位に使用される製品。
日本国内における人工骨市場規模は86億円で、現在、当社が販売している骨接合材、人工関節、脊椎固定器具とのシナジー効果をはじめ、先行販売している非吸収型の人工骨「プリマフィックス」（形状賦形型）及び「プリマボーン」（（顆粒・フィラー、多孔体））に新たなバリエーションとして吸収型の人工骨が加わることで日本国内における人工骨製品の販売拡大が期待される。

「セラリボーン」

「プリマフィックス」

「プリマボーン」

NGK スパークプラグ NTK ニューセラミック 日本特殊陶業

※ 画像サイズはイメージで実際のサイズとは異なります。

3．Topics③- b

人工骨売上推移

NGK スパークプラグ NTK ニューセラミック 日本特殊陶業

新製品導入
販売体制強化
（製品企画部　新設）
売上倍増
目指す

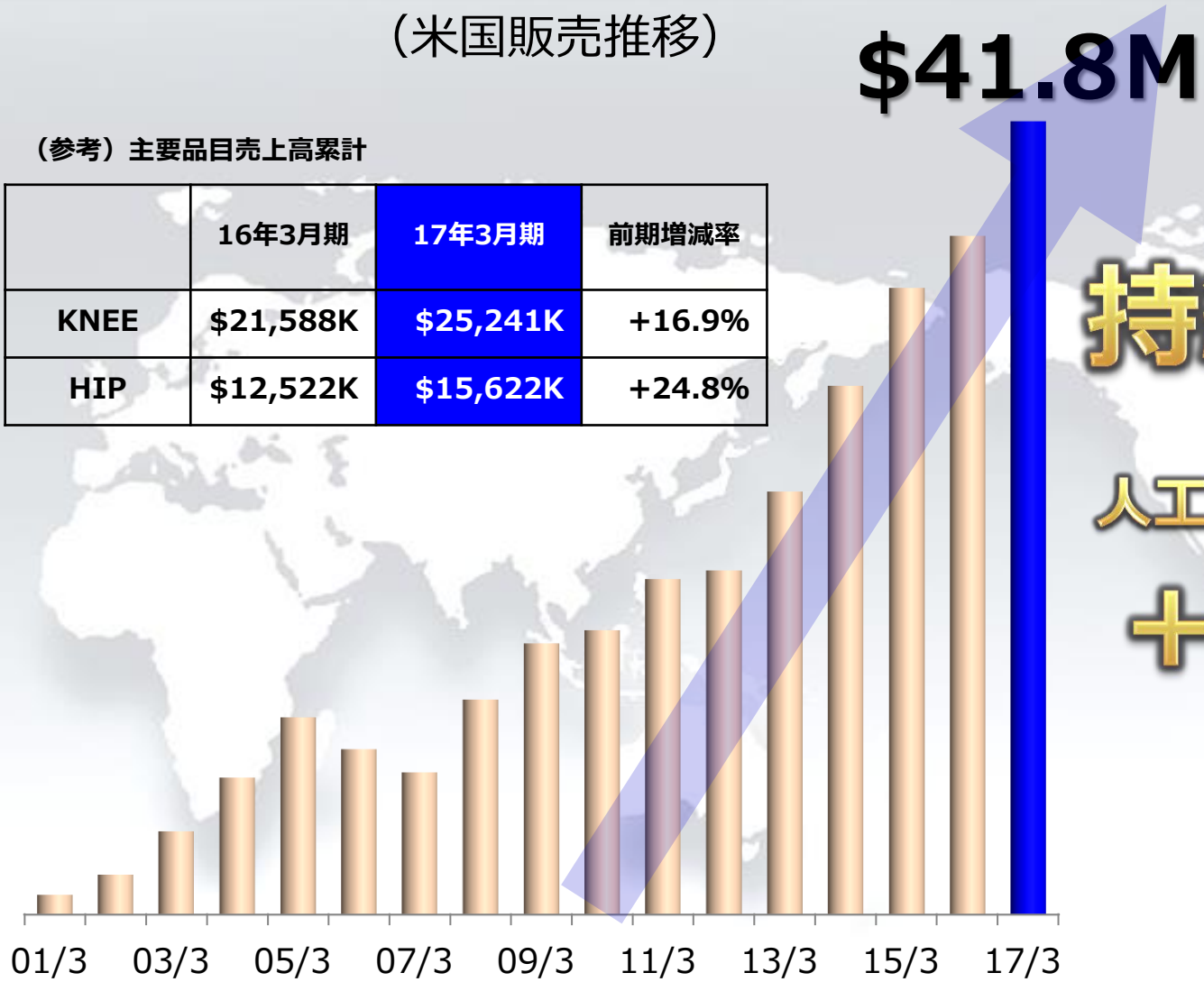
※　画像サイズはイメージで実際のサイズとは異なります。

3．Topics④

（米国販売推移）

（参考）主要品目売上高累計

	16年3月期	17年3月期	前期増減率
KNEE	$21,588K	$25,241K	+16.9%
HIP	$12,522K	$15,622K	+24.8%



持続的成長

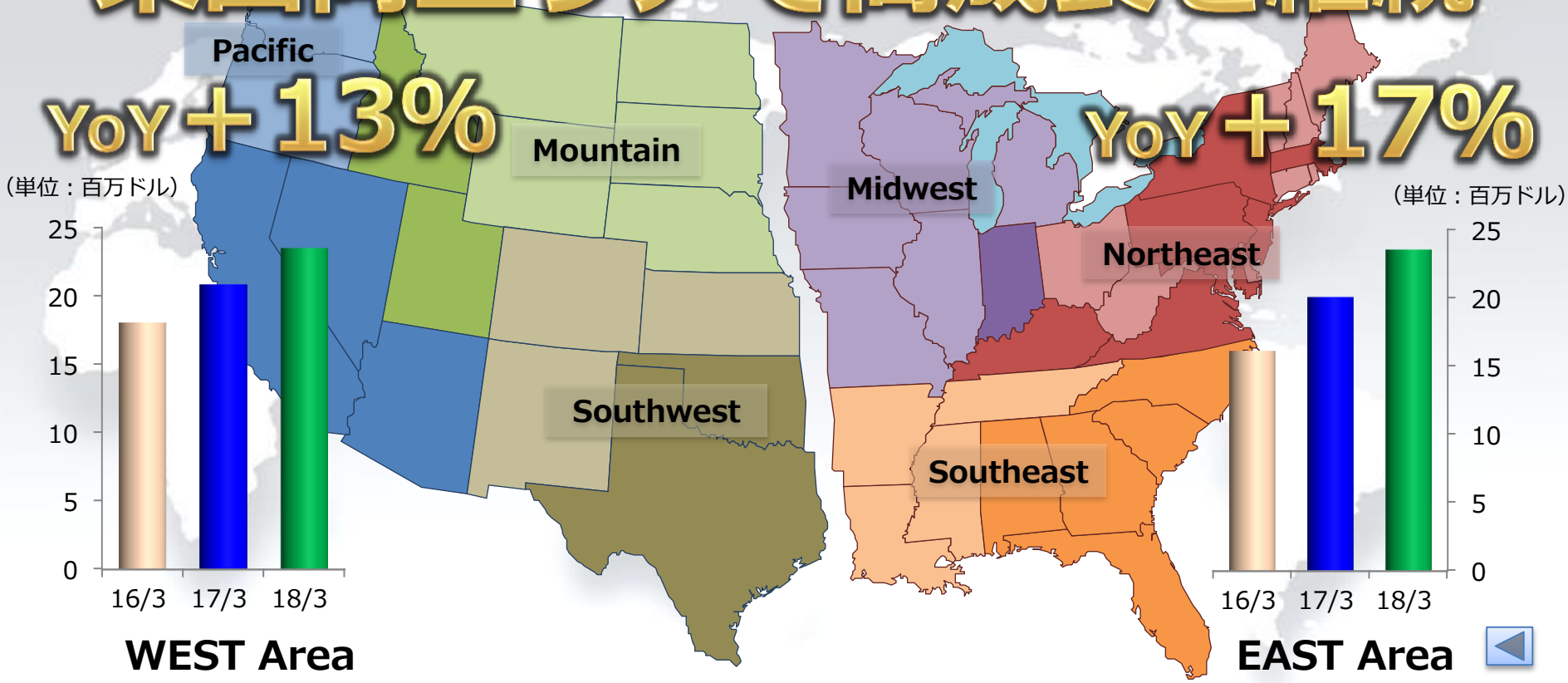
人工股関節　成長牽引

+17.0%

3．Topics④-b

営業体制強化（RSM採用）

東西両エリアで高成長を継続



※ 米国販売、脊椎固定器具の販売実績は含んでおりません。

4． 設備投資等推移

（単位：百万円）

	2013年3月期実績	2014年3月期実績	2015年3月期実績	2016年3月期実績	2017年3月期実績	**2018年3月期予想**
設 備 投 資	1,673	1,351	1,116	1,884	1,107	**1,238**
減価償却費 ※1	804	927	1,101	893	930	**1,019**
研究開発費	336	326	330	476	480	**523**

※1　製造原価算入の減価償却費を含むため、損益計算書上の「減価償却費」とは一致しておりません。